

# コーティング代替フィルム材料

当社は微分散技術により、繊維用着色剤を提供してきた実績があります。この技術をもとに、新しい分散技術による材料本来の性能を最大限に発揮させたマスターバッチをご紹介します。

## 特長

### 01 製品価値の向上

ナノレベルの分散技術により、「高透明性」「薄膜化」「長寿命化」を実現します。  
バインダーを不要とすることで、「多層化・複合化」の制約を解消します。

### 02 製造コスト削減

コーティング・蒸着工程の代替により、「製造プロセスによる低コスト化」を可能にします。

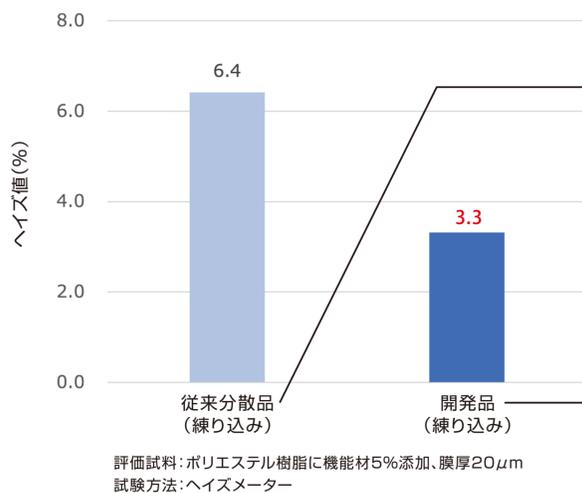
### 03 サステナブルな社会に貢献

脱溶媒および乾燥工程の削減により、VOCやCO<sub>2</sub>排出を削減できます。

## 物性データ

### 【ATO分散による評価】

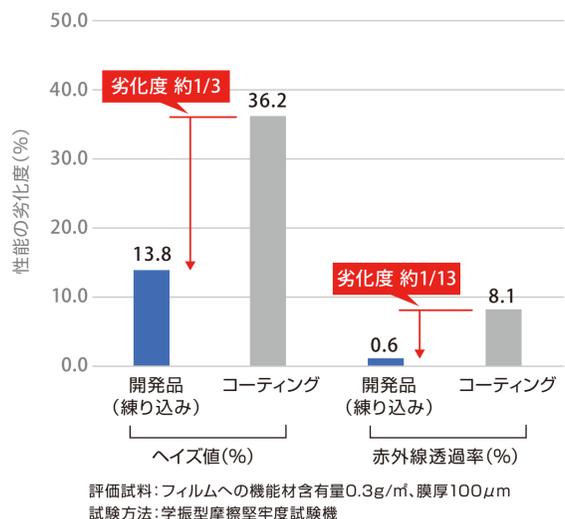
#### ■ 透明性評価



#### ■ 分散性評価



#### ■ 耐摩耗性評価



※本資料の物性データは特定条件下における当社評価結果であり、保証値ではありません。

## 適用用途

適用材料	機能
ITO、ATO、CTOなどの金属酸化物	遮熱、波長制御、帯電防止
グラフェン、CNT	導電、電磁波遮蔽、熱伝導
TiO <sub>2</sub> 、ZrO <sub>2</sub> 、微粒子ポリマー	反射防止、光拡散、UVカット



▲ ウィンドウフィルム



▲ 帯電防止フィルム



▲ ディスプレイ用フィルム



Dainichiseika

大日精化工業株式会社

技術管理本部 展示会事務局  
e-mail: development@daicolor.co.jp